



巻頭集

スリルを味わいながら
自分の限界を探る大人の遊び

還暦チームが挑む ダートトライアル

モータースポーツというと、命を懸ける
高い技術と高価なマシンをイメージしますが、
比較的エントリーしやすいことで知られる
ダートトライアルをご存じでしょうか。
格安で購入した車両でモータースポーツを楽しむ、
平均年齢61歳の地元チームを訪ねました。

シーズンの行方を占う 大切なタイムトライアル

舗装されていない路面に設定された
コースを走り、周回するのにかかるタ
イムを競うダートトライアル。アスフ
ルト路面での競技とは異なる独特の
テクニックが必要で、参加者が楽しめ
るのももちろんのこと、車をスライド
させながらコーナーを立ち上がってく
る迫力ある走りは、観戦する人にも興
奮の時間を与えます。
コースは日本各地に点在しますが、
松阪にも本居宣長奥墓のすぐそばに全

国から愛好家が集まる「山室山ダート」
があります。完成したのは33年前。も
ともとはひとつの大きなコースでした
が、県道59号が開通したことにより、
東・西のふたつに分かれました。1周
1.3kmほどの西コースでは、国内四
輪モータースポーツの統轄団体である
JAF（日本自動車連盟）が主催する
本格的なダートトライアルの大会や、
ノーマルカー4時間耐久レースなど、
年間で5戦ほどが開催されています。
本格的なダートトライアルに参加す
るには、講習を受けてライセンスを取
得しなければいけません。1月3日

三菱ランサー

エンジン、足回り、
ブレーキと、全てが
ノーマル状態。室内
は必要なもの以外は
全て外して軽量化が
図られます



「チームまつさか」は他に「ホンダ・シビック」と「トヨタ・サイノス」も所有。安全性確保とボディ剛性アップのためのロールオーバー防止機構、シートベルトなどはネットオークションを利用して格安で購入したもの



山室山ダートのオーナー
山田勝也さん

「瓦礫が混ざった路面のコースが多いのですが、舗装に土
だけになってきています。JAF
の公認を得ているダートコースは三重県でここしかありません。特に初級者、中級者の
皆さんに「楽しいコース」と
言っていたいです」

に行われた年始の恒例「お年玉ダート
トライアル」は不要。また、本来ひと
りのドライバーにつき車両1台が必要
ですが、1台で複数のドライバーが出
走できるため、気軽に参加できます。
さらに、無改造車を対象とするノ
ーマルクラス、フロントエンジン・フ
ロント駆動のFF車クラス、リア駆動

のFR車/ミッドシップ車クラス、もつ
とも速いタイムをマークする四輪駆動
車クラスと、細かくクラス分けがされ
ているため、公平に争えるのも競技の
楽しさを増しています。
激しい走りが披露され、車が横転す
ることもあります。いままでにケガ

人は出ていません。最高速度がそれほ
ど高くないことに加え、JAFの公認
を受けているコースは高い安全性が確
保されているのです。
モータースポーツは春から新しい
シーズンの始まり。年始に行われる
このタイムトライアルが今シーズンの
行方を占う大切な一戦になります。

格安パーツを探し出す楽しみ 集まって整備することも魅力

を抑え、気軽に参加できるのが魅力で
す。「チームまつさか」は、廃車にな
っていた「三菱ランサー」を格安で購
入。メンバーで分割して負担を軽減し
ています。
性能差が少ないため、大切なのはド
ライビングテクニック、そしてチーム
ワークや工夫。チームメンバーが走っ
ている時は真剣に応援し、自分の番が
近づくとつれて徐々に集中力を高めて
いきます。



1.2.3.パドックには和気あいあいとした雰囲気が漂っています。大切なのはチームワーク。お湯を沸かしてコーヒーを淹れ、のんびりと楽しまします。自分の番が近づくと一変、その目は真剣そのものになります。4.右端、子育てのため休戦中の馬場リサさん。通称「ママさんバレーの鬼」前田浩さんは仕事のため、取材に訪れた日は欠席でした。「全員、孫がいる「還暦チーム」で頑張っています！」5.「ノーマルダート4時間耐久レース」で獲得したトロフィーの数々。2013年シーズンのシリーズランキングは2位。2014年はチャンピオンを目指しています。6.今年の「お年玉ダートトライアル」では渡辺 理さんがクラス優勝。渡辺 徹さんがクラス2位、中西さんが同3位になりました



1.2.3.パドックには和気あいあいとした雰囲気が漂っています。大切なのはチームワーク。お湯を沸かしてコーヒーを淹れ、のんびりと楽しまします。自分の番が近づくと一変、その目は真剣そのものになります。4.右端、子育てのため休戦中の馬場リサさん。通称「ママさんバレーの鬼」前田浩さんは仕事のため、取材に訪れた日は欠席でした。「全員、孫がいる「還暦チーム」で頑張っています！」5.「ノーマルダート4時間耐久レース」で獲得したトロフィーの数々。2013年シーズンのシリーズランキングは2位。2014年はチャンピオンを目指しています。6.今年の「お年玉ダートトライアル」では渡辺 理さんがクラス優勝。渡辺 徹さんがクラス2位、中西さんが同3位になりました

ダートトライアルに夢中な 「チームまつさか」の皆さん

前田浩さん
通称「チーム1の飛ばし屋」



中西 紳一さん(64歳)
通称「しんちゃん2」
「タイムトライアルは短期集中型の競技。ガッツと集中して走ります。僕らの年齢ではそういうことってあまりないですからね。そういうのも楽しいですよ」

渡辺 理さん(64歳)
通称「おさん写真」
「限界すれすれをキープして走っているのが楽しい。根詰めてタイムを狙うような歳じゃないですからね。楽しめればいい。それが1番です」

北村 慎一さん(64歳)
通称「しんちゃん」
「気合を入れ過ぎると滑って無駄が多いんです。今日はこれで終わりにしようかな。とか考えながら走ると意外とタイムが出たりします」

渡辺 徹さん(56歳)
通称「ダートトライアルの鬼」
「ショップに車作りを任せて無駄が多いんですが、僕らは自分たちで車を作りなさいですよ。それを含めて楽しんでるんです」

木村 晴司さん(60歳)
通称「とどさん」
「お金がかからないのが魅力。数100万円掛けても10秒ぐらいしか変わらない。僕らの究極の目標は、お金を掛けずにいかに楽しむかなんです」

「お年玉ダートトライアル」に参加したチームの中で注目を集めていたのは、このコースをホームグラウンドにしている「チームまつさか」。平均年齢は61歳。別名「還暦チーム」です。7、8年ほど前から知人である「山室山ダート」のオーナー、井田勝也さんの手伝いをしていた「チームまつさか」代表の木村晴司さん。同じく、顔見知りであった北村慎一さんと「これぐらいなら走れそうだ。俺たちもレースに出てみようか」と話したことがきっかけで、2012年4月にメンバーを集めてチームを発足。現在は「山室山ダート」と福井県南条郡南越前町にある「オートパーク今庄」で交互に開催されている「ノーマルダート4時間耐久」に年4〜5回参加しています。ダートトライアルは個人競技ですが、耐久レースはチーム戦。「チームまつさか」は4時間でコースを何周できるかを競う「ノーマルダート4時間耐久」に特に力を入れています。

その名の通り、参戦可能なのはノーマル車両。ダートトライアルと違い、レーサー自ら整備が可能なので、出費



山室山ダートの全景。オーナーの井田さんが入念に整備を行っているため、良好な路面コンディションが保たれています。

山室山ダート
松本市山室町1299
電話0598-29-6988
http://yamamuro.info/
チームまつさか
http://todo-san.com/dirt/

チーム募集中!
ウェブサイト又は電話にて問い合わせを/090-4233-5551(木村晴 司さん)